



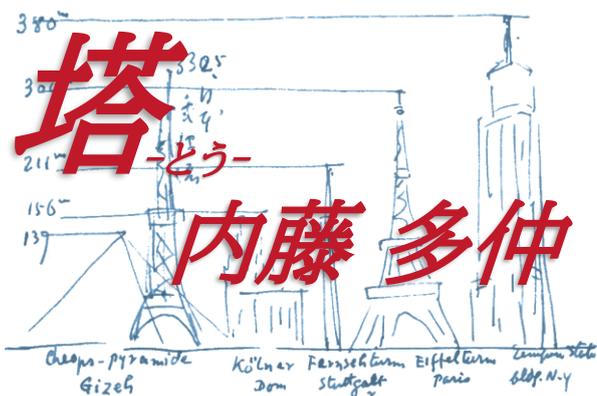
アメリカ留学の際、耐震構造のヒントを得たトランク
【早稲田大学蔵】

東京タワー建築時の記録を残した日記帳
【個人蔵】



内藤多仲(1886-1970)は、榊村(現在の南アルプス市)出身の建築構造学者です。明治43(1910)年に、東京帝国大学工科大学建築学科を卒業し、同年、早稲田大学講師に就任し、大正元(1912)年に教授となりました。大正13(1924)年に、アメリカ留学時のトランク破損を基に発見した「架構建築耐震構造論」で工学博士となりました。この理論により設計された歌舞伎座は、関東大震災でも被害を受けませんでした。その後、昭和33(1958)年に開業の東京タワーを設計し、「耐震構造の父」「塔博士」と呼ばれました。「積み重ね つみ重ねても またつみかさね」を信念とした内藤多仲の業績を、ぜひご覧ください。

南アルプス市立中央図書館中庭の「未来テラス」には、東京タワーの1/75の大きさの模型がありますので、併せてご覧ください。



愛用の計算尺(上)
メガネ(下)
【早稲田大学蔵】



南アルプス市立美術館所蔵の「東京百景」のなかから東京タワーを描いた作品7点をふるさと人物室で展示いたします。それぞれの画家が描く個性溢れる東京タワーをお楽しみください。

■展示スケジュール■

- 第1期 池田満寿夫《東京タワー》銅版画 10/14~12/14
- 第2期 坂東壮一《竹芝栈橋》銅版画 12/15~R6.2/8
- 第3期 古賀章《風景(Tokyo Tower)》木版画 2/9~3/28
- 第4期 高橋力雄《東京タワー》木版画 3/30~5/9
- 第5期 小林敬生《1999-TOKYO(JAPAN)-目黒、自然教育園からの遠望-》木口木版画 5/10~6/18
- 第6期 利根山光人《東京ラブソディー》リトグラフ 6/29~7/30
- 第7期 吹田文明《江戸の花》木版画 8/1~9/16

池田満寿夫《東京タワー》
【南アルプス市立美術館蔵】
※展示期間 12/14(木)まで



学生時代のノート
【南アルプス市立図書館蔵】

南アルプス市 ふるさと人物室



開館時間 平日 午前9時30分から午後7時まで
土日祝 午前9時30分から午後5時まで

休館日 R5. 10/31 11/24・30 12/28~31
R6. 1/1~4・9・31 2/13・29 3/21・29 4/14・30
5/7・31 6/19~28 7/16・31 8/13・30

住 所 山梨県南アルプス市小笠原1060-1(櫛形生涯学習センター内)
問い合わせ 南アルプス市立中央図書館(代表055-280-3300)

休館日は変更になる場合があります。ご来館前に電話等でお問い合わせください。